

無線通信アドバイザーグループ
特別会合及び CG 活動
報告書(案)

2025年12月

RAG 特別会合の結果

無線通信アドバイザーグループ(RAG:Radiocommunication Advisory Group)は、ITU 条約第 11A 条に規定された会合であり、世界無線通信会議(WRC)の準備や無線通信総会(RA)、ITU-R 研究委員会(SG:Study Group)に関する計画、運営、財政事項等について検討し、その結果を無線通信局(BR)局長に助言することを任務としている。

2025 年 4 月に開催された第 32 回 RAG 会合において、2026 年の ITU 理事会で策定される予定の 2028～2031 年 ITU 戦略計画に、ITU-R が直面する課題や優先事項を反映すべく、コレスポンドンス・グループ(Correspondence Group:CG)を RAG 内に設置することが合意された。その上で、CG への委任事項(ToR:Terms of Reference)に合意し、CG 議長には El Hadjar Abdulrahman 氏(カメルーン)が任命された(回章 CA/277 Annex 1 参照)。

これまで開催された 2 回の CG 会合(第一回:2025 年 9 月 23 日、第二回:2025 年 10 月 6 日)において、2026 年 1 月の第 4 回 2028～2031 年 ITU 戦略・財務計画作業部会(Council Working Group on the ITU strategic and financial plans 2028-2031 :CWG-SFP)に提出される寄与文書案が作成され、その最終化のため、2025年12月9日に RAG 特別会合がバーチャル形式で開催された。

2 つの CG 会合及び RAG 特別会合の概要を以下に報告する。

1 第一回及び第二回 CG 会合

第一回 CG は 2025 年 9 月 23 日、第二回 CG は同年 10 月 6 日に開催され、主に 3 件の入力文書が審議された。これらの主な内容を以下にまとめる。

表 1 第一回及び第二回 CG の主な入力文書と審議概要

入力文書	提案概要	審議概要
CWG-SFP 議長からのリエゾン文書 (RAG/50)	<p>2025 年 9 月 8 日～10 日の第三回 CWG-SFP 会合を踏まえた、2028-2031 年戦略計画の業績評価指標案(後述 CWG-SFP-3/7)及び以下の ITU のミッション及びビジョン修正案が示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビジョン: <ul style="list-style-type: none"> - 現行:相互接続された世界によって支えられた情報社会において、電気通信/情報通信技術が、すべての人々の社会的、経済的、環境的に持続可能な成長と発展を可能にし、加速させる。 - 修正案:社会的・経済的成長を加速し、持続可能な未来を形作る、つながった世界。 • ミッション: <ul style="list-style-type: none"> - 現行:電気通信/ICT のネットワーク、サービス及びアプリケーションへの、手頃な価格で普遍的なアクセスを促進・支援・育成し、それらの利用を通じて、社会的、経済的及び環境的に持続可能な開発を実現すること。 - 修正案:電気通信/ICT ネットワーク、特にデジタルサービス及びアプリケーションへの、手頃な価格で、普遍的かつ信頼されたアクセスを促進・支援・育成し、それらの利用を通じて、社会的、経済的及び環境的に持続可能な成長と発展を実現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> • 将来の ITU 戦略・財務計画におけるビジョン及びミッションに加え、テーマ別優先事項 (thematic priorities)の名称について審議された。 • ビジョンについては、CWG-SFP による修正案で合意した。 • ミッションについては、CWG-SFP の修正案では「信頼できるアクセス(trusted access)」及び「デジタルサービス」が追記されているところ、RAG 特別会合で継続審議となった。 • 「thematic priorities」の名称変更:イランは、周波数管理に関する ITU の作業及び責任について、ITU 憲章を含む ITU 基本文書に規定されていることを明確にするため、「憲章上優先度 (Constitutional Priority)」または「基礎的優先度 (Fundamental Priority)」に変更すべきと提案し、合意した。
事務総局長による報告:	成果重視型マネジメント(RBM)の原則に沿って策定される 2028～2031 年 CWG-SFP 案に	• 現行の戦略・財務計画に含まれる 3 つの成果を、新たな戦略・財務計画においても維持することで合意

2028-2031年戦略計画の業績評価指標(KPI)案 (CWG-SFP-3/7 ¹)	適合する、インパクト及び成果の実績評価指標案。	した(下図表2参照)。 <ul style="list-style-type: none"> • 成果指標については、CWG-SFP から示された案につき議論が行われ、RAG 特別会合で審議すべき指標の追加案が示された(下図表2参照)。
ロシア、ベラルーシ、キルギス3カ国による入力文書:上記KPI草案に対するコメント (CWG-SFP-3/13 ¹)	3カ国は、CWG-SFP-3/7で示された指標案は一般的かつ抽象的であり、ITUの活動と直接的に関連していないものも含まれているとした上で、以下の追記を提案。 <ul style="list-style-type: none"> • RRの規定に従い、主管庁(加盟国)から提出された衛星ネットワーク/システム申請の審査。(データ元:BRデータ) 	<ul style="list-style-type: none"> • 左記3カ国提案に対し、BR(SSD)は「RRの規定に従い、主管庁(加盟国)から提出された衛星ネットワークの審査の割合(%)」という代替案を示したが、RCC及びBR案のどちらもコンセンサスが得られず削除された。 • RCCは、CWG-SFPが示した指標案に異議を唱えるものではないものの、同文書で提案されている成果指標は、期待される成果のすべてを十分に網羅しておらず、必要な改善について引き続き検討する必要があるとして、今後の会合で追加の提案を提出する権利を留保した。

¹ これら2文書はRAGの文書番号が割り振られておらず、CGのShareholderで共有された。

表 2 成果指標案の変遷（第一回 CG～RAG 特別会合）

成果	第一回 CG に提出された指標案(CWG-SFP-3/7)		第二回 CG に提出された指標案(Working Document)		RAG 特別会合に提出された指標案(RAG/51)	
	成果指標	データ元	成果指標	データ元	成果指標	データ元
①無線周波数及び軌道資源の効率的・経済的・合理的・公平な利用 a)宇宙業務 b)地上業務	MIFR に登録するために宇宙局への周波数割当てを通告した国の数	MIFR	No.11.31 に基づき MIFR に登録された宇宙業務への周波数割当数(年次) (GSO/NGSO)	MIFR	左記を採用	
	過去 4 年間に、MIFR に登録するために宇宙局への周波数割当てを通告した国の数	MIFR	No.11.31/11.32/11.32A に基づき MIFR に登録された件数(年次) (GSO/NGSO)	MIFR	左記を採用	
	MIFR に登録された地球局への周波数割当てを通告した国の数	MIFR	No.11.41 に基づき MIFR に登録された件数(年次) (GSO/NGSO)	MIFR	左記を採用	
	過去 4 年間に、MIFR に登録された地球局への周波数割当てを通告した国の数	MIFR	No.4.4 に基づき MIFR に登録された件数(年次) (GSO/NGSO)	MIFR	左記を採用	
	地上業務の割当てが MIFR に登録されている国数	MIFR			(RAG 特別会合で審議された追加案) ・ MIFR から削除された周波数割当数 ・ RR との不整合によるもの ・ 通告主管庁からの申請によるもの ・ 公表された特性/パラメータと整合した実利用を反映した、最新の MIFR の維持管理 ・ 宇宙業務と地上業務 ²	MIFR
	過去 4 年間に、地上業務の割当てが MIFR に登録されている国数	MIFR	左記を採用		左記を採用	
			適合審査結果(favorable finding)に基づき MIFR に登録された地上業務(計画)の割当数	MIFR	No.11.31 に基づき MIFR に登録された地上業務(非計画・非調整対象)の割当数(年次)(※左記の明確化)	MIFR
			適合審査結果に基づき MIFR に登録された地上業務(非計画)の割当数	MIFR	No.11.31/11.32 に基づき MIFR に登録された地上業務(非計画・調整対象)の割当数(年次)(※左記の明確化)	MIFR
					No.11.31/11.34 に基づき MIFR に登録された地上業務(計画)の割当数(年次)(※左記の明確化)	MIFR
					No.4.4 に基づき MIFR に登録された地上業務の割当数(年次)(※左記の明確化)	MIFR
②有害な混信の回避 a)宇宙業務 b)地上業務	有害な混信の報告がない衛星ネットワークに割り当てられた周波数の割合(%)	MIFR + SIRRS	報告期間 1 年間に BR に報告された、宇宙業務に係る周波数割当てに対する有害な混信の件数	SIRRS	左記を採用	
	過去 4 年間に BR へ報告された有害な混信混信事例の件数(宇宙業務)	SIRRS	報告期間 1 年間に BR に報告され、未解決の宇宙業務に係る周波数割当てに対する有害な混信の件数	SIRRS	未解決中の宇宙業務に係る周波数割当てに対する有害な混信の件数(※左記案の報告期間1年間の削除)	SIRRS
	過去 4 年間に BR へ報告された有害な混信事例の件数(地上業務)	SIRRS	報告期間 1 年間に BR に報告された、地上業務に係る周波数割当てに対する有害な混信の件数	SIRRS	左記を採用	
			報告期間 1 年間に BR へ報告され、未解決の地上業務に係る周波数割当てに対する有害な混信の件数	SIRRS	未解決中の地上業務に対する有害な混信の件数(※左記案の報告期間1年間の削除)	SIRRS

2 後述のとおり、RAG特別会合での審議の結果、2点目の「最新のMIFRの維持管理」についてはコンセンサスが得られず、この点についても検討したことをカバーレターに記載することで合意した。

③ITU-R 勧告等の活用強化(電波伝搬モデルを含む)			WRC のために作成された ITU-R 勧告及び報告数	BR データ	承認・発行され有効な ITU-R 勧告、報告、ハンドブックの数(※左記の明確化)	BR データ
					年間で承認・発行された ITU-R 勧告、報告、ハンドブックの数(※左記の明確化)	BR データ
その他(コンセンサスが得られず削除された指標案)	運用中の GNSS 衛星の数(コンステレーション/GSO システム/全衛星)	MIFR	RR に従い、主管庁から提出された衛星ネットワーク/システム申請数又は申請割合(%) (※RCC 提案(CWG-SFP-3/13)及びその代替案であるが、コンセンサスが得られず後に削除された。)	BR データ		
	GNSS 受信機(Rx)を内蔵した機器の数(十億台)	GNSS/EO Market Report				
	地球探査衛星の数(コンステレーション/GSO システム/全衛星)	MIFR				
	地球探査衛星を運用している国の数	MIFR				

2 RAG 特別会合

関係文書:RAG/49(TSAG)、50(CWG-SFP)、51(Chair, RAG CG)、52 (Director, BR)

- 【会合名称】 ITU 無線通信アドバイザーグループ(RAG)特別会合
【会 期】 2025 年 12 月 9 日(火)午後 1 時～2 時 40 分(ジュネーブ時間)
【開催場所】 電子会議(Zoom)によるバーチャル会合

RAG 特別会合は、2025 年 12 月 9 日に、オンライン形式で開催された。議長は RAG 議長 (Mohammad Aljnoobi 氏(サウジアラビア))が務め、イラン、米国、ロシア(SG4 議長含む)、カナダ (WP4A 議長)等をはじめ約60名の参加があった。日本からは表 3 のとおり総務省等から 3 名が参加した(RAG/53)。

表 3 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属
1 青野 海豊	総務省 国際周波数政策室
2 齋藤 順子	ワシントンコア
3 森 圭子	ワシントンコア

【本会合の主な審議結果】

2026 年 1 月の CWG-SFP に提出するリエゾン文書案に合意した。RAG-CG 報告(C/51)に示された「ITU のミッション及びビジョン」及び成果指標案にある「最新の MIFR の維持管理」の 2 点については、コンセンサスが得られず、カバーレターに記載することで合意した。その他の項目は、特段の異議なく、RAG-CG の提案から変更なし(NOC)とすることで合意した。

2.1 決定事項

- RAG-CG 報告(C/51)に示された CG 報告概要をベースに CWG-SFP への RAG からのリエゾン文書案を検討し、具体的な成果指標の提案等について合意した。
- このうち、①ITU のミッション及びビジョン、②成果指標案の「最新の MIFR の維持管理」の 2 点については、更なる明確化が必要であるとしてコンセンサスが得られなかったことから、リエゾン文書本文ではなく、カバーレターに記載することで合意した。その他の項目は変更なし(NOC)で合意した。
- RAG から第四回 CWG-SFP へのリエゾン文書(CWG-SFP-4/6)は、2025 年 12 月 12 日に発出され、カバーレターは以下のとおり記載された。

RAG から第四回 CWG-SFP へのリエゾン文書のカバーレター(CWG-SFP-4/6)

<背景>

RAG 特別会合は、本書 Annex に含まれる、戦略計画のテーマ別優先事項及び成果指標に関する提案に合意した。

ミッション及びビジョンについては、提案された修正案³を CWG-SFP に直接提出することが可能であるとの認識で合意した。

成果指標に関しては、以下の追加指標について検討した。

- RR 特に第 13 条セクション II の関連規定を考慮し、公開された特性・パラメータに適合した実際の使用状況を反映するよう、最新の状態に維持された MIFR の管理。
 - 宇宙業務
 - 地上業務

³ RAG CG に提案されたが合意に至らなかった修正案を各国主管庁が直接、CWG に提出することを意味する。

<要請される対応>

CWG-SFP 2028-2031 は、本書を検討するよう要請される。

2.2 議論のポイント

2.2.1 ITUのビジョン及びミッション

- CWG-SFP 議長から、文書 RAG/50 にリンクが貼られたパワーポイント文書「Vision and mission」に示された、現行の ITU Vision と Mission の紹介及びそれらの修正案について説明があった。
- 「ビジョン」については、現行の「相互接続された世界によって支えられた情報社会において、電気通信／情報通信技術が、すべての人々の社会的、経済的、環境的に持続可能な成長と発展を可能にし、加速させる」を「社会的・経済的成長を加速し、持続可能な未来を形作る、つながった世界」に修正することが提案されたところ、過去2回の CG 及び特別会合では特段の議論はなく、CWG-SFP の修正案を変更なし(NOC)とすることで合意した。
- 一方で、「ミッション」については、現行の「電気通信／ICT のネットワーク、サービス及びアプリケーションへの、手頃な価格で普遍的なアクセスを促進・支援・育成し、それらの利用を通じて、社会的、経済的及び環境的に持続可能な開発を実現すること」について、RAG CG において「信頼されたアクセス(Trusted access)」の追記に加え、サービスを「デジタルサービス」に修正することが検討され⁴、作業文書に統合されていたが、これに対し、米国が RAG から CWG への入力文書は無線通信に関するものであるべきで、「Trusted access」への言及等は無線通信に関係ないことから、本提案を支持する主管庁から CWG に直接提出されるべきと反対した。特に、Trusted access の論点は、現在 ITU-T のセキュリティを扱う研究委員会(SG)17 において議論されており、同 SG から CWG への入力文書や、ITU-D の WTDC における審議結果を踏まえても、本論点については合意に至っていないと述べた。
- 議論の結果、ミッションの修正を RAG から CWG に対して提案することは見送ることで合意し、上記(主管庁が CWG に提案することができる点)をカバーレターに含めることで合意した。

2.2.2 成果指標案

- これまでの CG 会合を経て追加することが提案され、今次特別会合で審議予定であった2つの「成果指標案」のうち、「MIFR から削除された周波数割当数」については、BR は、当該情報は無線通信規則委員会(Radio Regulations Board :RRB)に提供しているものであり、実現可能と述べ、特段異論がなく合意した。一方、「MIFR の維持管理」については、BR は関連データを有していないと説明し、米国もデータ源等が不明確であるとし本指標の削除を求めた。
- これに対しイランやロシアは、無線通信規則(Radio Regulations:RR)第 13.6 条(MIFR の確認)とも密接に関連している重要事項であるという観点から、BR は実際の使用状況を反映するよう MIFR を維持すべきであるとし、削除に反対した。BR の宇宙業務部(Space Services Department:SSD)部長は、原案では計測するデータ指標が不明であり関連データを抽出できるよう明確化が必要と述べ、カナダ(WP4A 議長)も MIFR の更新は BR の主要任務のひとつであるとした上で、SSD 部長の指摘を踏まえ、RR 第 13.6 条に関する要請件数であれば計測可能であるという一案を提示した。一方で、実質的な問題はこれらの要請を受け、最終的にとられたアクションであるが、BR がアクションをとれるかは各事案に関する各国主管庁の回答に依存しており、BR は独自の判断で行動できないことであると指摘した。
- 議論の結果、具体的な成果指標の提案として含めるのではなく、CWG へのリエゾン文書のカバーレターに「追加の成果指標として『MIFR の維持管理(RR 特に第 13 条セクション II の関連規定を考慮し、公開された特性・パラメータに適合した宇宙業務と地上業務の実際の使用状況)』についても検討した」という点を記載することで合意した。

⁴ 本件に関する RAG CG に提出された正式な提案文書は見当たらない。審議中の口頭提案であったか、あるいは、CWG-SFP 議長からの提案を検討したものと思われる。

表 4 入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
49	TSAG	Liaison Statement from ITU-T TSAG on the Third Submission of TSAG to the Council Working Group for strategic and financial plans 2028-2031	TSAG から第 4 回 CWG-SFP 会合に提出される Thematic Priority に関する修正提案に関するリエゾン文書。TSAG は、ITU の標準化活動の重要性をより包括的に示す表現が必要として、Thematic Priority 2 にある「国際番号資源(international numbering resources)」を「国際標準の策定(Development of international standards)」に変更することを提案。
50	CWG-SFP	Liaison Statement from the Council Working Group For Strategic and Financial Plans on Outcomes of the 3rd CWG-SFP Meeting	第 3 回 CWG-SFP 会合の結果概要に関する、CWG-SFP からのリエゾン文書(前述)
51	Chair, RAG CG-ITU-SP-2028-31	Report of the RAG Correspondence Group on the ITU Strategic Plan 2028-2031 to the special RAG meeting	RAG 特別会合に提出された、2028~2031 年 ITU 戦略計画に関する RAG CG 報告(前述)
52	Director, BR	Comments from the Bureau on the proposed indicator on the number of frequency assignments that have been suppressed from the MIFR	MIFR から削除された周波数割当数に関する指標案についての BR の意見。 <ul style="list-style-type: none"> SSD 関連: <ul style="list-style-type: none"> SSD は、既に各 RRB 会合前に公表される BR 局長報告 第 5 章において、衛星申請の廃止状況を報告している(例:文書 RRB25-3/11)。 前述 BR 局長報告に含まれる統計の一部は、MIFR から削除された周波数割当に関する提案指標の報告に再利用できる。(例:表 5-1:宇宙計画(Space Plan)の対象外の衛星ネットワーク及びシステムに関する削除、表 5-2:RR Appendix30 及び 30A の放送衛星業務(BSS)及び BSS フィーダーリンク計画の対象となる衛星ネットワークに関する削除、表 5-3:RR Appendix30B の固定衛星業務(FSS)計画の対象となる衛星ネットワークに関する削除。) 地上業務部(Terrestrial Services Department:TSD)関連: <ul style="list-style-type: none"> TSD は、廃止数の件数を報告する。その目的のために、BRIFIC のデータが使用される。

表 5 出力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
CWG-SFP-4/6	RAG	Liaison Statement to the Council Working Group for strategic and financial plans 2028-2031	RAG から第 4 回 CWG-SFP 会合に提出される、将来の ITU 戦略・財務計画におけるビジョン及びミッション、Thematic Priorities の名称、及び成果指標の修正提案に関するリエゾン文書。ミッション及びビジョン、成果指標案の「最新の MIFR の維持管理」については、RAG においてコンセンサスが得られなかったことから、各国主管庁が CWG-SFP に修正案を直接提出することが可能である旨カバレーターに記載されており、その他の項目は変更なし(NOC)で合意したことが記載されている。(2.2 参照)

3 表一覧

表 1 第一回及び第二回 CG の主な入力文書と審議概要	1
表 2 成果指標案の変遷 (第一回 CG~RAG 特別会合).....	3
表 3 日本からの出席者(敬称略・順不同).....	5
表 4 入力文書一覧.....	7
表 5 出力文書一覧.....	7